

寒さに強く、おいしい豆腐ができる大豆「十育258号」

概要 Abstract

- ☺ 豆腐の加工適性が優れる。
- ☺ 「とよみづき」より倒伏に強い。
- ☺ 「ユキホマレ」より低温障害に強い。
- ☹ 「ユキホマレ」より裂皮の発生がやや多く、「とよみづき」並。

成果 Results

豆腐メーカー実施の「十育258号」加工試験結果(平成27~28年)

項目	対とよみづき					項目	対ユキホマレ				
	◎	○	□	△	×		◎	○	□	△	×
硬さ		3	8	1		硬さ	3	3	3		
甘み	2	5	5			甘み		3	4	2	
総合	2	4	3	3		総合	3	2	3	1*	

注1)表中の数字は、試験事例数である。

注2)基準品種を3点としたときの5段階評価で実施し、◎~×で表した。

注3)*は、'豆乳製造行程等を検討すれば利用可能'のコメントがあった。

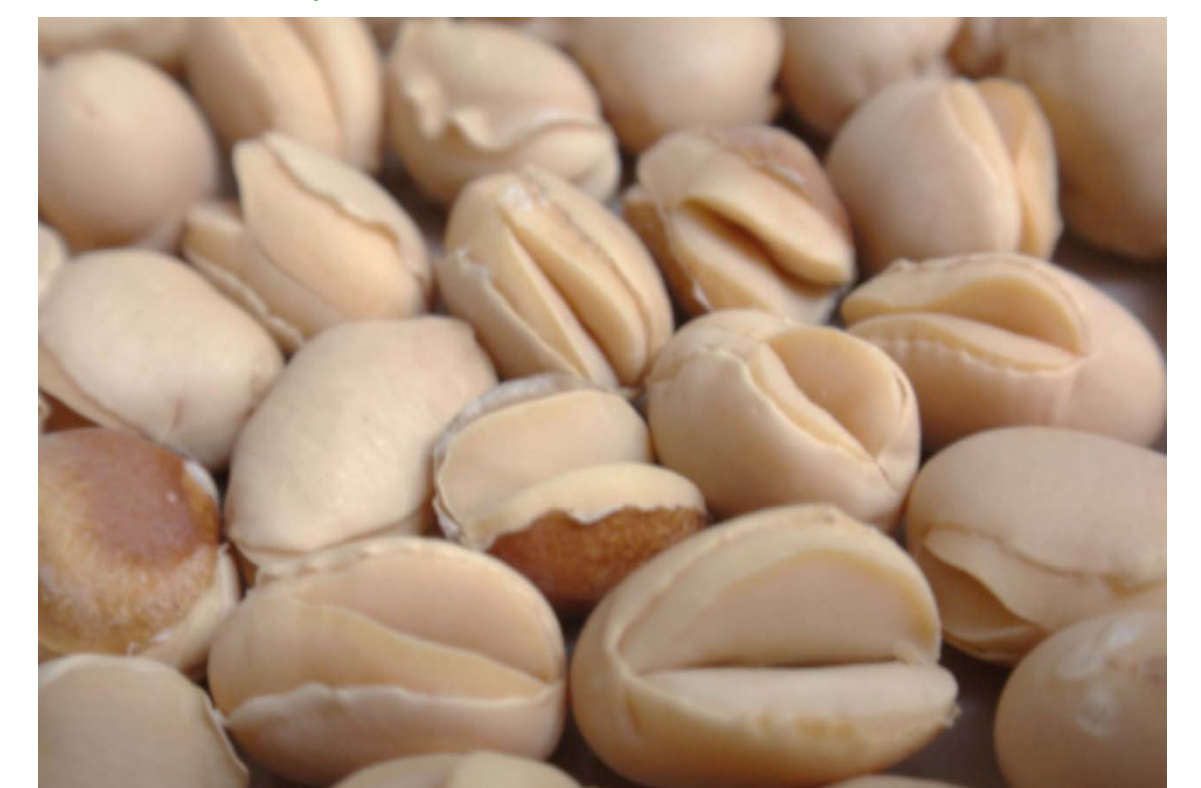
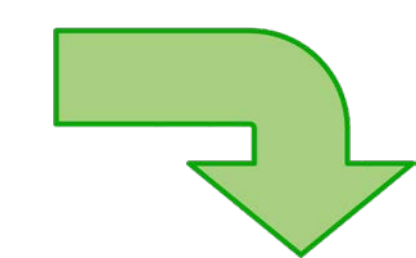
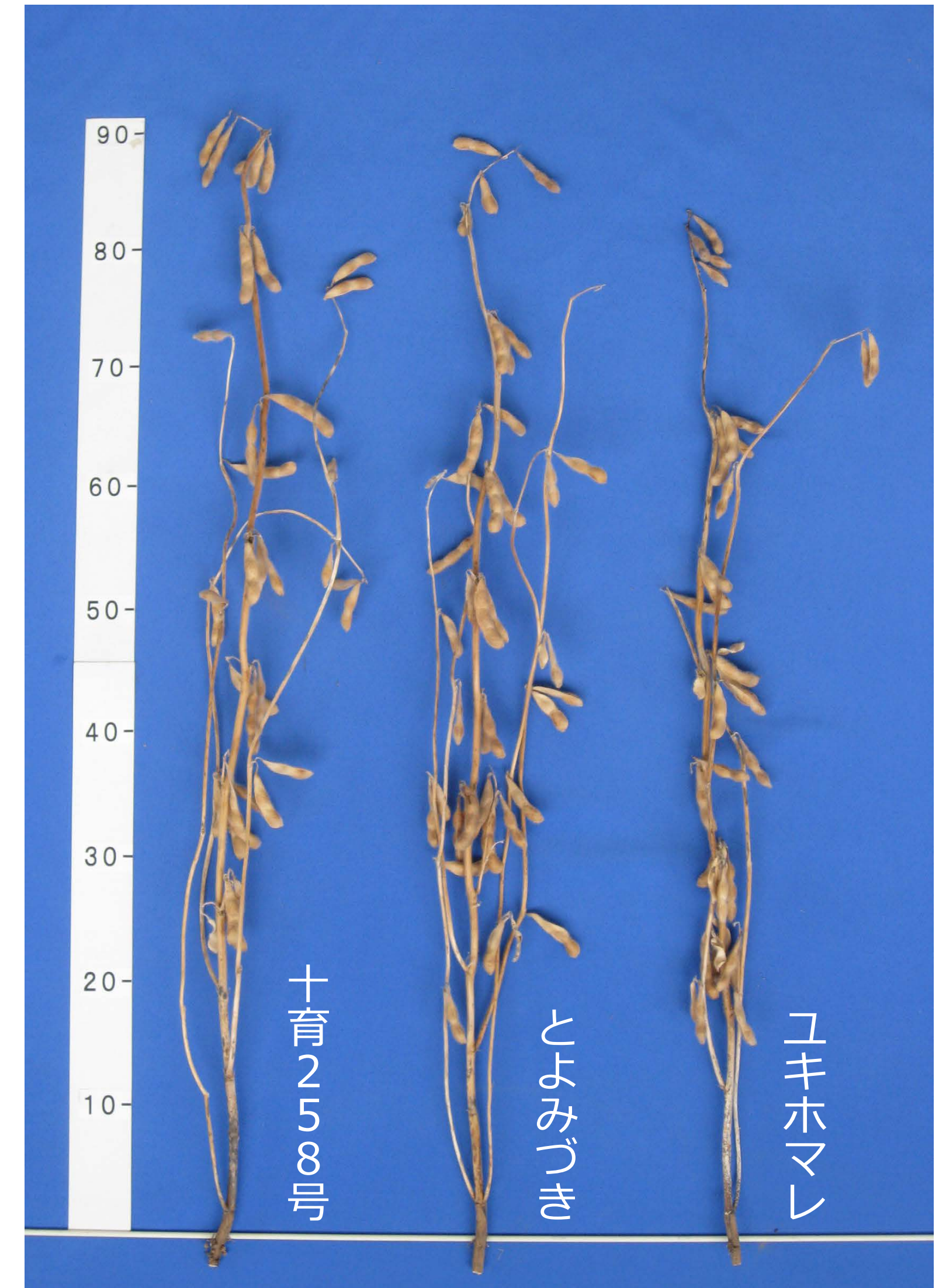
十勝農試での生育データ(平成27~29年)と低温障害抵抗性

系統・品種名	成熟期(月日)	主茎長(cm)	倒伏程度		子実重(とよみづき対比)	百粒重(g)	裂皮程度	検査等級	シヨ糖含有率(%)	低温障害	
			標植	2倍密植						開花期耐冷性	裂開抵抗性
十育258号	9.25	85	1.1	2.0	105	37.0	0.9	2中	10.2	◎	◎
とよみづき	9.24	81	1.4	2.6	100	38.0	0.8	2上	9.3	◎	◎
ユキホマレ	9.23	76	1.0	2.2	100	36.3	0.4	2中	10.6	○	×

注1)倒伏程度、裂皮程度は、0(無)~4(甚)の達観調査。

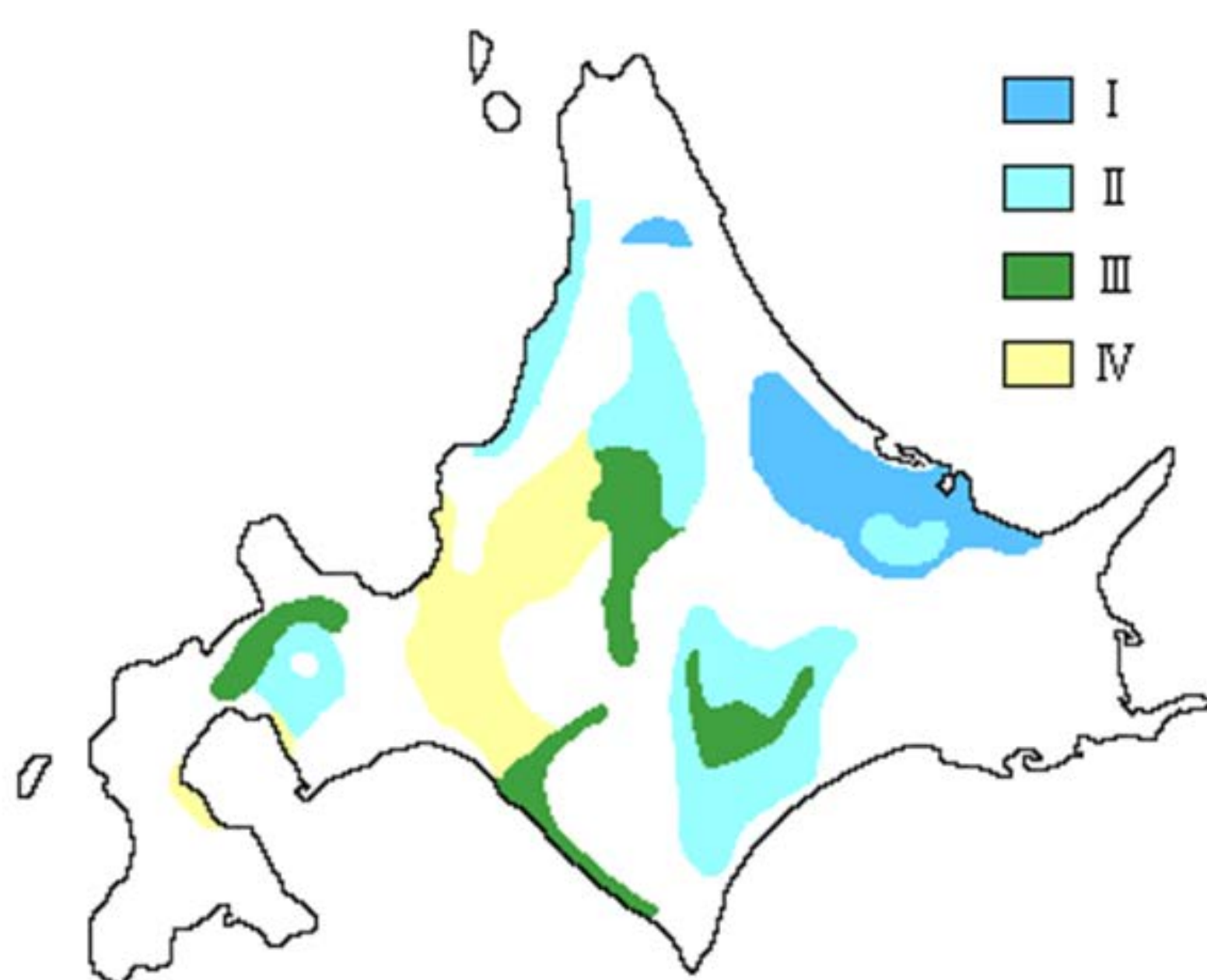
注2)栽植密度は、標植:16,667本/10a、2倍密植:33,333本/10a。

注3)低温障害は、◎:強、○:やや強、□:中、△:やや弱、×:弱 で表した。



低温による裂開粒被害

普及 Dissemination



普及見込み地帯

北海道の大豆栽培地帯区分 I、II、III、IV の地域、およびこれに準じる地帯(左地図参照)。普及見込み面積は、5,000ha である。

栽培上の注意

ダイズシストセンチュウ・レース3抵抗性であるが、連作および短期輪作を避けるとともに、レース3抵抗性品種にシストが着生する圃場では作付けを避ける。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 豆類グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp

※本成果は、「ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」および「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」により実施したものである。